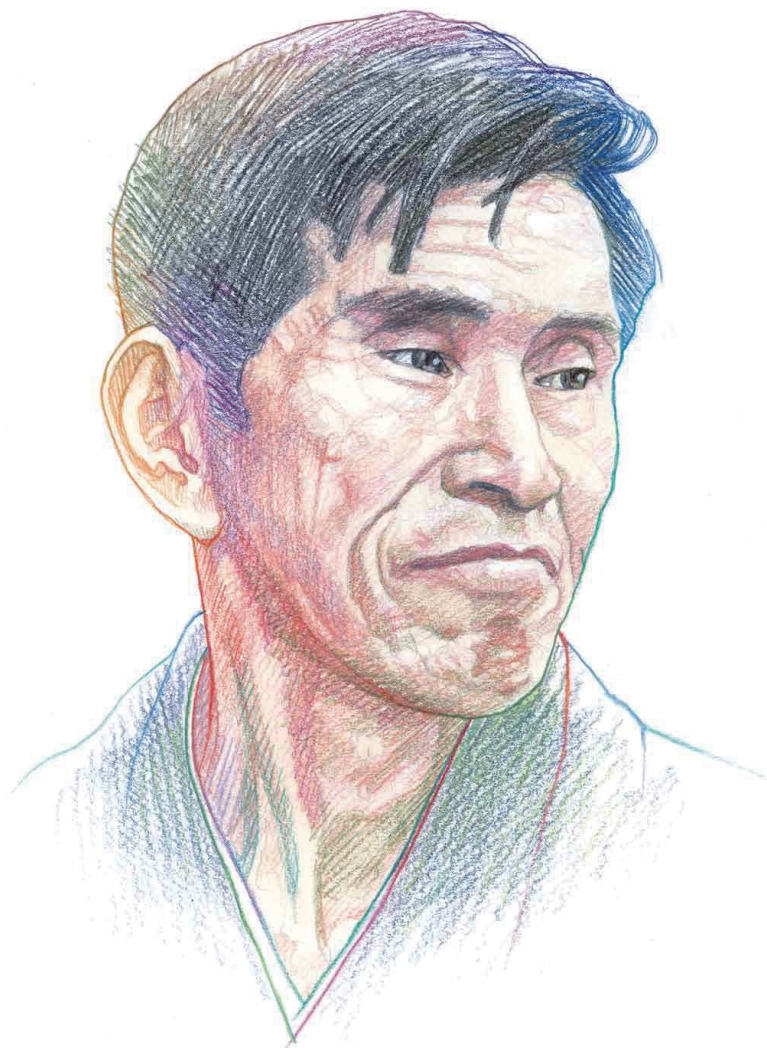


涙多き人生

ひら
かわ
こ
しん

平川
虎
臣

Hirakawa Koshin



明治 36 年(1903)～昭和 44 年(1969)

山鹿市生まれ

小説家、詩人

青年期に短歌に関心を示し、その後、上京して上司かみつかさしやうけん小剣に師事し、詩と小説が創作の中心となった。31歳の時に「生き甲斐の問題」が『中央公論』臨時増刊新人賞に入選し、以後、作家生活に入る。農村や農民の生き様をリアルに描いた『神々の愛』の刊行により作家としての地位を固め、昭和10年代にめざましい活躍を示した。熊本日日新聞に『菊池武重きくち たけしげ』を連載。著書に『花と門』、詩集『涙多き人生』などがある。